

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27実績	前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価	
	資料購入費:決算数値(千円)	14,726	12,813	12,499	0.98	図書館全体も新津図書館としても資料購入予算が減額となるなか、また正規職員も減った中で、貸出冊数が約13%増加、新規登録者が33%増加したことは新津図書館の自助努力を評価できると思う。今後さらに、新津図書館の魅力を出して利用者を獲得できるように創意工夫していきたい。	3 大変評価する。100% 2 ある程度評価する。0% 1 評価できない。0%	・正規職員が減って、何かと大変だと思うが、貸出冊数、新規登録者が増加したことは評価したい。 ・建物が明るくなったこと、駐車場が広く使いやすくなったこと、レファレンスサービスが充実していることなど、足を運びやすくなったと思う。素晴らしいことだと思う。 ・自助努力を評価し、今後の利用者獲得につなげてほしい。創意工夫に力を入れ、いつ、何かある、魅力ある図書館であって欲しい。 ・自己評価のとおりで健康な状態かと思う。後は館長の方針次第だが、今後も予算が削減されるのが予見できる中、予算アップを望むよりも、人口減少と経済の行き詰まりの中で図書館の役割を再構築し、少ない予算で良質なサービスを提供する方が格好良いかもしれない。 ・予算減の中、前年度比プラスは大きな成果である。どのような取り組みが有効であったのか検証することで、平成28年度の一層の増加を目指して欲しい。 ・新規登録者が増加していること、とても嬉しいことです。足を運んでくださるといいですね。 ・全体の印象として、更なる広報の工夫が必要。
	蔵書点数(点):図書・AV	163,145	158,498	163,036	1.03			
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	276,630	312,102	352,585	1.13			
	個人の登録者数(人)	10,590	10,469	11,033	1.05			
	(内新規登録者数)	810	1,548	2,053	1.33			
入館者数(人)	後期 新規	—	135,732	184,717	1.36			

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27目標	H27実績	自己評点	H28目標	評価(次年度への展開)		
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価	
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	3,318	2,929	3,000	2,616	1	3,000	3 大変評価する。37.5% 2 ある程度評価する。62.5% 1 評価できない。0%	・予約件数が増加したことは良いことだと思う。人気の本は予約してから随分時間がかかるようだが、貸出期間を短くするなどの工夫は難しいだろうか？ ・どんな内容の相談が多くなったのか、減少したのは何か原因が明確であれば問題はない。 ・なぜレファレンス件数が増えたのか、自己評価に理由を添えていただくと理解しやすい。一概に悪いこととは理由次第で決められない。 ・レファレンス件数減は利用者の慣れによるものもあるのではないかと。引き続きの広報をお願いしたい。 ・数字だけを見ると減ですが、オープン時の煩雑の中で大変でした。ご苦労さまです。	
	個人予約件数(件)	54,098	51,479	55,000	56,878	3	58,000			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	—	—	—	—	—	—			
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」								自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	15,179	15,452	15,500	15,730	2	16,000	3 大変評価する。50% 2 ある程度評価する。50% 1 評価できない。0%	・郷土資料の収集は個人には難しいことなので、公共図書館の意義は大きいと思う。 ・郷土資料などに興味を持つことは良いことである。目立つことではないが、地道に続けてほしい。 ・郷土のアピールにつながって行って欲しい。連携・協力できることは大切にスタートしてください。楽しみにしています。 ・郷土資料のような資料は興味を持つのは限られた人と考えられるので、PR方法、利用促進については新しいやり方も加えて検討しても良いと思う。 ・限られた予算の中、郷土に関わる蔵書を増やしていることは評価できる。今後も新津図書館らしい特色を出せるように充実してもらいたい。 ・他の機関や連携などは大変なことではと思うが頑張ってやってください。	
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	1,968	3,165	3,500	3,436	2	3,500			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	後期 新規	—	—	—	0	1			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	後期 新規	—	—	—	0	1			
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」								自己評価	外部評価
	児童書の貸出冊数(冊)	74,396	83,620	85,000	93,686	3	95,000	3 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 1 評価できない。0%	・親子で図書館事業に参加してもらうことが将来的に図書館の利用者増にもつながると思うので評価できる。 ・団体図書の出し出しなど少しでも本に触れる機会を持つことは有意義なことだと思う。ゲームにはない楽しさ、面白さを職場体験なども含めて感じてもらいたい。様々な活動をこれからも期待したいと思う。 ・まだまだ伸びる可能性が大きい事業だと思います。 ・図書館の役割は貸し出しだけではなく、課題解決型の業務を分離するだけでなく、このようなところで複合的に実施・提案をできたら良いと思う。 ・活用推進事業による増も大きいと考えるが、郷土資料の増加など学校のニーズに合わせた蔵書の充実も一因と考える。活用推進事業終了後も継続できるようにお願いしたい。職場体験人数や派遣人数は子どもや学校のニーズによるため、図書館側の指標としては適さないのではないかと。 ・公民館等との連携・協力事業に期待しています。 ・図書館事業とは館内だけで成り立っている訳ではないことが分かりました。こういった企画を進めることが多くの方が図書館を利用することにつながるんですね。	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	後期 新規	4,176	3,151	4,000	5,119	3			5,300
子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	2,678	2,779	3,000	3,068	2	3,200				
職場体験受入人数(人)	6	21	25	5	1	6				
職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	後期 変更	1	2	2	2	2				
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	後期 新規	—	—	—	0	1				
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」								自己評価	外部評価	
図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,065	717	1,000	644	1	700	3 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。75% 1 評価できない。0%	・ボランティア募集などのチラシなどあまり身に付いたことが無い。広報に一工夫必要かもしれない。 ・広報紙の公募では日程などが組みにくい(遅いため)。地区の公民館や学校ボランティアなどにも登録を図書館にお願いしておき、事前に日程、内容などをお知らせできれば参加者増加になると思います。 ・ボランティアは全国各地でも減っており、反対の立場に立って、なぜボランティアをしないのかについて考えるところから地道に検討して良いと思う。減少はしているが、この人数は健闘したと感じる。 ・ボランティア減少の理由を参加者の声を基に把握し、改善に努める。 ・図書館ボランティアは難しい？特別な技術などが必要ですか？行政書士相談会とても良い企画ですね。実施回数と共に年々増加して行くのでは。 ・減少している要因を追求しているか？		
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	6	5	6	6	2	6				
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	2	2	2	3	2	3				
共催・協働事業の実施件数(件)	後期 変更	—	—	—	14	2			15	
効率的・効果的な運営(職員)								自己評価	外部評価	
研修参加職員数(延人数)	16	12	15	26	3	30	・27年度は積極的に研修会に参加した。またそれぞれが受けた研修についても新津図書館内部で報告会を行った。	3 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 1 評価できない。0%	・研修されたことも図書館運営に生かし、より良い図書館にしてほしい。 ・必要な研修はこれからも続けてほしい。 ・大いにスキルアップしてください。 ・研修に参加して、その結果どうなったのか、反映された内容が重要だと考える。 ・継続し、資質、能力の向上に努めていただきたいと思います。 ・平成27年度から実績数が突出しています。個々の担当分野をやりながら研修参加は大変でしたね。報告会などもまめにやっていっていらっしゃる様子。皆様の努力に感謝します。	

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った